

経営比較分析表（令和4年度決算）

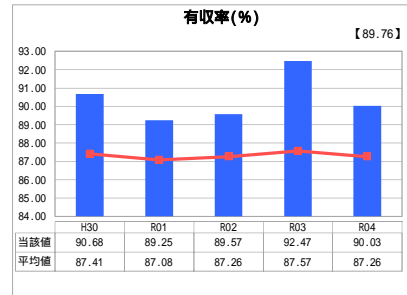
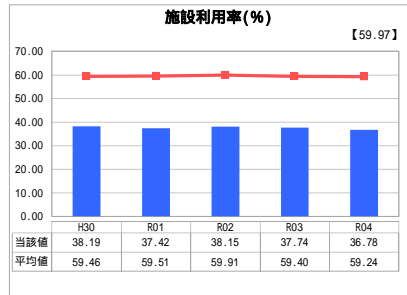
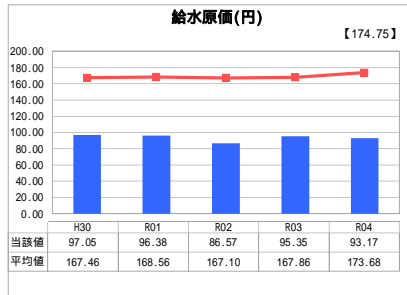
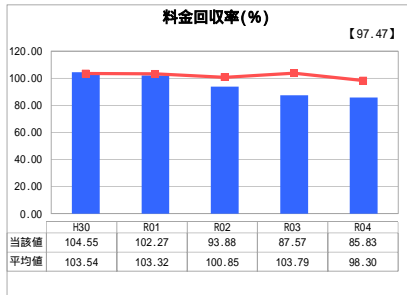
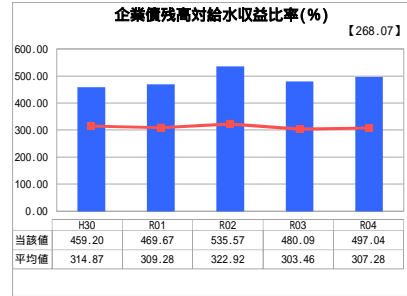
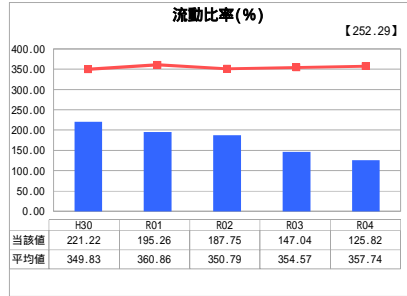
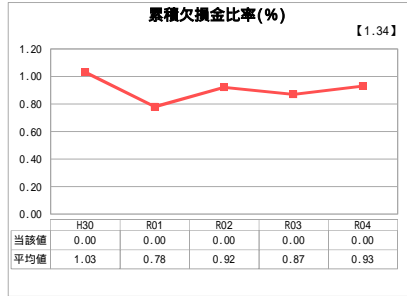
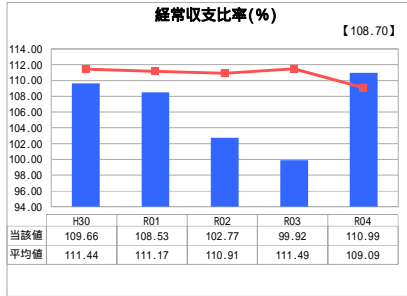
兵庫県 高砂市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	61.50	100.00	1,463	

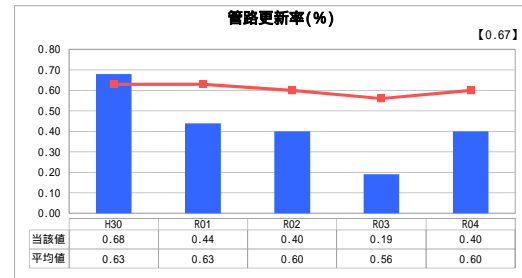
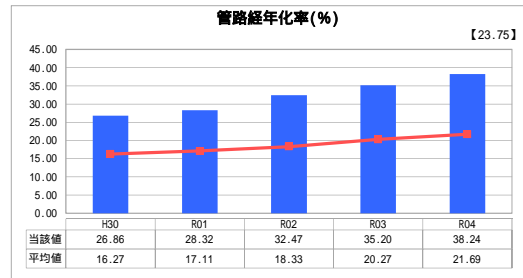
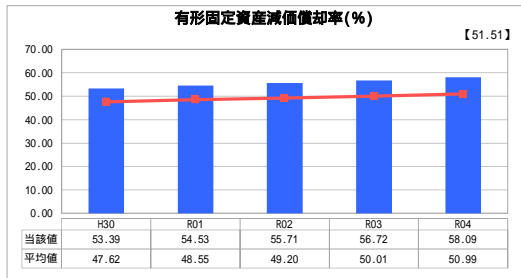
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
88,166	34.38	2,564.46
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
92,378	29.20	3,163.63

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
● 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度は物価高騰等を踏まえた料金減免に対して一般会計から全額の繰入れがあったことや経常費用が減少したことなどから、令和3年度と比較すると経常収支比率が11.07%増加し、135,634千円の純利益を計上した。

流動比率（短期的な債務に対する支払能力）や施設利用率は類似団体平均より低い値となっている。ただし、流動比率は約126%であり100%を上回っているため、支払能力に問題は無い。また、施設利用率が低いのは、単一の浄水施設で運営しており、施設・設備の事業面での効率性が図りにくいことであるが、今後施設・設備の縮小を計画しており、施設利用率改善される見込みである。

企業債残高対給水収益比率は、企業債残高が約2.66億円減少したが、給水収益も減少したため、約49.7%となり、類似団体平均より高く推移している。

給水原価は営業費用の減少により2.18円減少し93.17円となり、類似団体に比べてかなり安い経費で水道水が作られていることが分かり、有収率は2.44%減少し、90.03%となっている。

2. 老朽化の状況について

管路経年化率は類似団体平均に比べて高い値を示すとともに毎年度上昇しており、老朽化が進んでいることが分かる。管路更新率も類似団体平均に比べて低い値となっている。

全体総括

収益の収支については良好な経営状況であるが、施設や管路の老朽化対策を進めるためには財源の確保が課題となっている。

また、人口減少や節水型社会が進んでいるため、引き続き経費節減を行っていく必要がある。

令和元年度に上下水道事業審議会を立ち上げ、有識者・市民の意見を活かし、各種計画を反映させた投資計画に基づく収支計画など中長期的な水道事業経営戦略を令和3年3月に策定し、令和5年10月から約30%引き上げの料金改定を実施し財源の確保に努めており、今後も安全・安心な水の安定的な供給と持続可能な健全運営を行っていく。